

マクロ経済学初級Ⅰ：練習問題6

2017年6月27日

(1) 2期間生きる個人を考える。彼女の収入は、配当所得のみであるとし、今期の配当所得を D_0 、来期の配当所得を D_1 と書くことにする。利子率を $r\%$ と書くことにすると、彼女の生涯所得の現在価値はいくらになるか。

(2) 彼女は、利子率 $r\%$ で、自由にお金の貸し借りができるものとする。彼女は、今期に借金をすると、来期には、それに利子を加えたものを返却しなければならない。あるいは、彼女が今期貯蓄を行った場合には、彼女は、来期、貯蓄額プラス利子所得を受け取る。このとき、彼女の予算制約線を1本の等式で書き表せ。

(3) 今期（第0期）の消費を C_0 で、来期（第1期）の消費を C_1 で、それぞれ表すことにする。いま、彼女の効用関数は C_0C_1 で与えられている。効用最大化の結果、彼女の今期の貯蓄額はいくらになるか。（仮に、その数字がマイナスであれば、彼女は「借金」をしていることになる。）